

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 プライムタイム・ネクスト	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.490	△RG 0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：プライムタイム・ネクスト

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：プライム・タイム

フレアーの幅 インチ

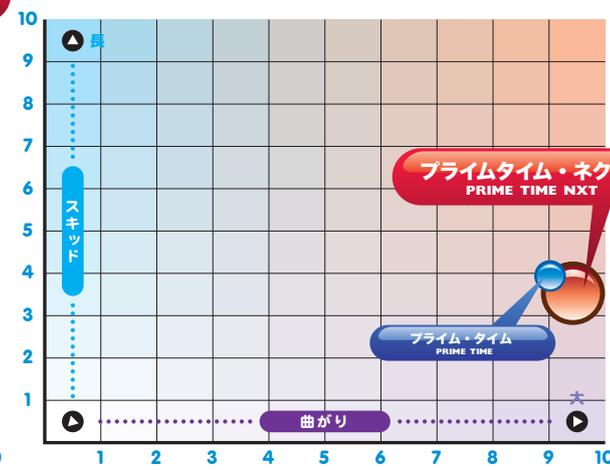
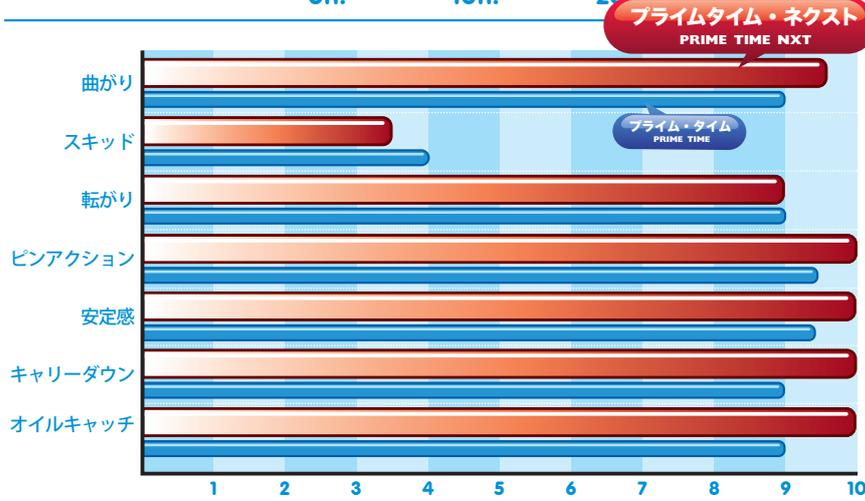
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ABS完全監修であるPRO-amブランドのPRIMEシリーズは2021年に開発がスタートしました。第3作目となるPRIME TIME NXTも一貫してPRIMEオリジナルであるTriaxial 1.0 Asymmetric Coreをそのまま使用しています。このコアデザインの最大の利点は、低慣性モーメントを生み出し、転がりやすく設計されていて、より少ないエネルギーで大きな動きを得られるところにあります。そして今回新しく開発された86x0 Ion Pearl Reactiveという特殊配合のカバーストックは、PRIME TIMEの Magnigrit Pearl Reactiveよりもオイルに対して強化させ、動きや強さを失わずにスキッド力も追加させています。パワフルさ、強い入射角、そしてダイナミックなボールモーションは前作PRIME TIMEを格段にグレードアップさせ、一気にブランド力を押し上げたといっても良いでしょう。市原竜太プロ(相模原パークレーンズ専属)と一緒に投球する機会があったのですが、その時市原プロはPRIME TIME NXTだけを投球し、3ゲームで圧巻の856点(300・277・279)をマークしました。市原プロからは、「プライムタイムよりキャッチが上がっており、特にオイル上の安定感が格段に良くなっていて、バックエンドもしっかり出ていて安心感があります。」というコメントを貰いました。私も市原プロの投球を見ていましたが、オイル上の不安定さは全く感じられず、かなりオイルを感じるラインから出し戻しをしており、彼自身ボール自体にその性能を感じなければ投球しないであろうラインから攻めていました。市原プロはこれほどストライクを量産できた過去はなく、PRIME TIME NXTをこれからの武器の一つとしてトーナメントのレパトリリーに組み込む予定であることも語っていました。市原プロのような回転数が多い人だけではなく、女性でも十二分にその性能の良さを感じていただける自信作です。

特記事項

発売前からテスターの高評価が出続けている注目のボール。光沢があり、オイルに強く、先の動きを求めている方は是非使用してください。